

## 伝統のスッキョン披露

早尾のスッキョン

1月10日、早尾公民館において、町指定文化財および国選択無形民俗文化財に指定されている「早尾のスッキョン行事」が披露されました。

「早尾のスッキョン」は早尾地区に江戸時代ごろから伝えられる男性器の模型を振りかざす成人の儀式の一種で、現在は地元の消防団入団者が行っています。

儀式では、男性器の模型を褒めた後、しゃくしを挿したとつくりと模型を載せた膳を持ち上げ、歌を3曲披露しますが、しゃくしが落ちると、最初からやりなおします。団員が無事に儀式を終えると、見物者からは大きな拍手が沸き起こりました。



▲しゃくしを落とさないよう慎重に

## 長年の選挙功労に感謝状

藤坂史人委員に総務大臣感謝状

1月26日、熊本県庁で開催された平成27年度明るい選挙推進県民大会において、氷川町選挙管理委員会の藤坂史人委員(島地)に、長年の選挙管理・啓発の功労に対する総務大臣感謝状の伝達が行われました。

藤坂委員は平成15年に竜北町選挙管理委員会委員に就任。平成22年から27年まで氷川町選挙管理委員会委員長を務められ、約12年にわたり適正な選挙管理執行と選挙啓発に尽力されました。感謝状を授与された藤坂委員は「これまで共に仕事をした皆さんのことが胸中に浮かびます。これからも公正な選挙管理執行に努めてまいります」と話されました。



▲感謝状を受け取られる藤坂委員(右)

## 「未来の学校」創造へ

ICT活用授業の研究発表会

1月27日、竜北東小学校において、タブレット端末や電子黒板などのICTを活用した授業の研究発表会が開催され、県内の教職員など約180人の参加がありました。

熊本県では教育の情報化を推進しており、町内の小中学校5校は、熊本県教育委員会の指定する「ICTを活用した『未来の学校』創造プロジェクト推進事業」の研究推進校となっています。

竜北東小学校では「確かな学力」の定着を図る授業の創造をテーマに「基礎・基本を定着させるためのICTの活用」「課題を解決するための協働学習」という2つの視点で研究に取り組んでいます。



▲タブレット端末を使用した協働学習

んできました。

この日は3つの学級で公開授業があり、児童がノートをスクリーンに拡大投影し、自分の考えを説明したり、グループで話し合った内容をタブレット端末に書き込み、電子黒板に映して発表したりしました。各教室には、メモを取るなどして、熱心に授業を参観する参加者の姿がありました。

また、その後行われた全体会では、研究経過などが報告された他、熊本県教育委員会の溝口博史指導主事や竜北東小職員・氷川町教育委員会指導主事によるシンポジウムが行われ「授業が理解しやすくなったという児童が増えた」「児童に自分の考えを発表する意欲が出てきた」「氷川町の子どもたちの学力向上に向け、小中学校でさらに連携していきたい」などの意見が出されました。



▲ICTの効果的な活用について討論

## 農業コンクールでW受賞

農薬コンクール大会表彰式

1月28日、ホテル熊本テルサにおいて、第56回熊本県農業コンクール大会表彰式が行われ、経営体部門で早川猛さん・克美さん夫妻(北鹿野)、新人王部門で宮崎修太さん(西網道)が共に最高賞である秀賞を受賞されました。

「経営体部門」は、経営・生産技術の改善に積極的に取り組み、ゆとりある経営を実践し、地域農業の振興と地域の活性化に寄与している経営体に贈られるものです。

早川さんの栽培面積は県平均の1.4倍で、全量を畳表に加工。高級畳表の加工技術を独学で習得され、地域の生産者に技術を惜しみなく伝達され



▲受賞に笑顔の宮崎修太さん(左)、早川猛さん・克美さん(右)

ています。

研鑽と精神で築いた「職人魂畳表」で、熊本畳表ブランドの発展に貢献されての受賞となりました。

「新人王部門」は、自らの目標のもとに経営・生産技術の改善に意欲的に取り組み、次世代を担う者として地域の振興発展に寄与している就農後8年以内の農業者に贈られるものです。

宮崎さんは「玉石トマト」を開発しての商標登録、ハウスごとに作期をずらしての安定生産をはじめ、若手農業者のリーダーとして活動されています。栽培管理に携わる一方、販売や宣伝活動、栽培管理記帳を担当。環境に優しい栽培技術の導入や新商材開発で販売力強化を実現しての受賞となりました。



▲栄えあるグランプリを受賞

## 人生が変わる魔法のことば

氷川町文化講演会

1月31日、文化センターにおいて、氷川町文化講演会(氷川町文化協会主催)が開催されました。

今年、NHK大河ドラマ「天地人」や世界遺産「平泉」などの数々の題字を手掛け、書道家として活躍されている武田双雲さんを招き「人生が一瞬で変わる魔法のことば」をテーマに講演が行われました。

「感情は実は表情から決まる。嫌な事も笑顔でいれば考え方が変わるかもしれない。他人の性格は変えられないが、自分が変わると不思議と相手も変わります」と話され、エネルギーにあふれる武田さんの講演に来場者は笑顔が絶えませんでした。



▲軽妙な語り口で講演される武田さん

## 地域と私たちの未来

熊本県青年問題研究会

1月31日、氷川町公民館において、熊本県青年問題研究会(熊本県青年団協議会主催)が開催されました。

これは、県下青年団員の交流を深め、青年団や地域社会の将来について考えることを目的としています。

参加者は3つの分科会に分かれ、今後のあるべき姿や取り組みについて話し合いました。

助言者を務めた日本青年団協議会副会長の戸嶋幸司さんは「それぞれ住んでいる地域は違うが、抱える悩みや目指すものは同じ。みんなで集まることに意義がある。互いに協力し、青年団活動や地域を盛り上げていきましょう」と話されました。



▲地域の枠を超えて交流